

令和三年
4月号



太陽の都 だより

発行所 ● 医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」 〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 河原田

*** 当施設では新型コロナウイルス感染には万全な感染予防対策を実施しておりますので、安心してご利用いただけます。**

日常のご様子

☆ 節分

今年の節分は、二月二日（火）。方角（恵方）は、「南南東やや南」。三十六年間「節分」は二月三日が続いていたのですが、三十七年ぶりに変動しました。ちなみに節分とは、「鬼を追って新年を迎える、立春の前日の行事」です。立春の前日ですが、立春の日付は年により異なるため二月三日とは限りません。当施設でも二月二日（三階）・二月三日（二階）で豆まきを行いました。鬼役に扮装した職員に特製の豆を「鬼は外」「鬼は外」と投げつけ、邪気を追い払いました。



☆ ひなまつり

今年もひな祭り合わせて一階のフロアに雛段が飾られました。今年は、職員がお内裏様とお雛様に扮し、記念の写真を撮影し皆様に差し上げました。最初は皆様照れくさそうにされ

てましたが、「記念になるね」「良く撮ってね」等の声もきかれ微笑ましいひとときでした。

特集



花見について

く 花見の歴史く

日本の花見は奈良時代の貴族の行事が起源だといわれています。奈良時代には中国から伝来したばかりのウメが鑑賞されていましたが、平安時代にサクラに代わってきました。鎌倉・室町時代には貴族の花見の風習が武士階級にも広がり、花見の風習が広く庶民に広まってきたのは江戸時代といわれています。

江戸で最も名高かった花見の名所が現在の上野恩賜公園のサクラだったそうです。しかし当時上野での花見は格式が高く、騒ぐことは禁じられていました。一七二〇年（享保5年）に徳川吉宗が浅草（墨田川堤）や飛鳥山にサクラを植えさせ、庶民の行楽を奨励してから現在のような花見が広がったようです。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、宴会や密になってのお花見はできないよう

ですが、個々にお楽しみ頂きたいと思います。



クラブ日程・報告

映画クラブ

各フロアにて大型テレビに映像を映し出して
今は不定期ですが、利用者様より希望を覗い、
映画をご覧いただいています。席も密にならな
いようにディスタンスを保ち、お楽
しみ頂いております。

書道クラブ



二階は毎週月曜日の十三時より、書道クラブを
行っています。三階は毎週木曜日の十三時・三
十分より食堂にて行っております。利用者様の
作品は各フロアに展示させて頂いております。



博栄会グループニュース

赤羽中央総合病院

電話〇三(三九〇二)〇三四八 代表

新型コロナウイルスワクチン接種に関するお知らせ

当院は新型コロナウイルスワクチン接種を行う

「基本接種施設（病院）」となっております。

4月より高齢者（65歳以上）の接種が開始予定

となっております。

このワクチンの接種費用は**無料**です。

予約の方法等詳細がわかり次第随時ご案内いた
します。



医療法人社団博栄会グループ

<近況報告>

様・御家族様

担当：



「太陽の都」正面玄関右に植え込ま
れている梅の木に、今年も綺麗にう
めが咲き誇りました。春の訪れを感
じる一コマです。

2月24日撮影